

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和4 年 10 月 7 日

設置・運営主体	埼玉県戸田市		
設置主体	埼玉県戸田市		
経営主体	同上		
事業所名 (施設名)	戸田市立喜沢南保育園	種別	保育所
所在地	〒 335-0014 埼玉県戸田市喜沢南2-6-3		
電 話	048-443-9341		
FAX	048-443-6944		
Email	<a href="mailto:yagasaki.satono@city.toda.saitama.jp">yagasaki.satono@city.toda.saitama.jp</a>		
URL			
施設長氏名	矢ヶ崎 里乃		
調査対応担当者	矢ヶ崎 里乃 (所属、職名：喜沢南保育園 園長)		
利用定員	138 名	開設年	令和 2 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>保育理念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私達は、子ども達が安全で安心して過ごすことができる環境を整え、心身ともに健康な子どもを育てる。</li> </ul> <p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携を取りながら、丈夫な体と元気に遊べる子どもを育てる。</li> <li>・思いやりがあり、友だちなど大切にし、やさしく心豊かな子どもに育てる。</li> <li>・個性を大切にし、自分を表現できる子どもに育てる。</li> <li>・最後までやり遂げる力を持つ子どもに育てる。</li> <li>・地域の子育て支援の拠点となる保育園づくりをする。</li> </ul>			
開所時間 (通所施設のみ)	午前7時～午後7時 (月～金) 午前7時30分～午後6時30分 (土)		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		2
1歳児	24	24	2	12	3
2歳児	24	24	1		4
3歳児	28	26	1		2
4歳児	28	24	1		2
5歳児	28	28	1		2
計	138	132	7	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		23人	
うち	保育士	22人	保健師・看護師 1人
	栄養士・調理員	委託 7人	その他（ ）人
非常勤職員数		15人	（常勤換算 人）
うち	保育士	6人	（常勤換算 0.86人）
	保健師・看護師	人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	人	（常勤換算 人）
	その他（ 無資格パート/事務 パート/用務員	7.1.2人	（常勤換算 人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 0人	非常勤： 人
	退職	常勤： 1人	非常勤： 人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		歳（ 40.6歳）	
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		2.9年（ 2.9年）	
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

**【本来事業に併設して行っている事業】**

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	7:00まで 2500円
休日保育		
障害児保育	○	—
一時保育	○	半日1000円・1日2000円
地域子育て支援センター	○	
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名: )		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

**【ボランティア等の受け入れに関する事項】**

・令和 3年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

0人

・ボランティアの業務

コロナ禍前には以下の受け入れを行う。

保育業務補助

おはなし会

市内中学生

**【実習生の受け入れ】**

・令和 3年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 5人

### 【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

#### ○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	985.85 m <sup>2</sup>
	児童1人あたり 7 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	687.53 m <sup>2</sup>
	児童1人あたり 4.98 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	令和 2年

### 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・日頃から、乳児幼児ともに送迎時の会話にて利用者とコミュニケーションを図っている。  
・主に担任が個人面談、連絡ノート等を通して利用者の意見を聞いている。  
・園長が登園者数の多い時間帯(8:30~9:00)に門に立ち、挨拶や会話をする事で利用者が話しかけやすい雰囲気づくりを大切にしている。  
・事務所から見えない場所にご意見箱を設置するなどし、様々な意見を聞いたり、行事の感想、相談なども受けている。

## 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・リズム遊びを各年齢で継続的に取り組んでいる。全身を使って取り組む中で、体の健康や発達を助け、病気やケガに負けない丈夫な体を作っている。毎年戸田市立保育園7園の代表者が集まりテーマを決めて研究を進めているが、平成24年度から平成25年度にかけて「リズム遊び」を取り上げ研究を進め、具体的な指導方法や動きの意味を学ぶために、外部保育園にて研修を受けた職員が園内研修を行い現在も引き継がれ、園全体のものとして取り組んでいる。直近の研究会では令和元年度から令和3年度まで「食育」を、令和4年度は「自然遊び」をテーマとして研究をしている。
- ・楽器遊びを各年齢で取り組んでいる。楽器の弾き方、音の出し方などを学ぶ中で、自分の体を操作する力が育ち、感じたことやその時の気持ちなど、リズムで表現し豊かな表現力を養っている。また、一つの合奏曲を完成させる過程で、協調性、社会性、積極性が生まれ達成感が味わえるようにしている。特に年長組においては12月に行われるおたのしみ会にて保護者に発表したり、併設されている子育て支援センター利用者にも今後披露する予定である。また、毎年和太鼓など日本の伝統文化に触れる機会を持ち、リズム感や表現力を身に付け体幹を鍛えている。夏まつりにて下級生や保護者に披露することで達成感や自信を得られるようにしている。
- ・令和4年度より年長クラスにおいて安田式運動プログラムを取り入れ、子どもの安全能力を高めることを目的として取り組んでいる。
- ・幼児クラスでは、子ども達が主体的に遊べるように、道具や玩具を取り出しやすい場所に置くなど環境を整えている。また、空き箱等の廃材を利用した製作活動を楽しめるようにし、子ども達が自分で考え、想像しながら作り上げていく楽しみを十分味わえるようにしている。こうして自主性、自己肯定感、自制心、協調性などを小さいうちからじっくりと育て、さまざまな経験の中から非認知能力を育てていきたいと考えている。

## 【第三者評価の受審状況】

・ 受審回数（前回の受審時期）

1 回 （平成 19 年度）